

保護者様

令和5年度 学校評価（保護者・児童）の集計結果のお知らせ

新居浜市立中萩小学校
校長 加藤 三香子

仲春の候、皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じます。日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、1月末には教育活動についてのアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。保護者の皆様からご回答いただいたアンケートと児童の生活アンケート結果、及び教職員の自己評価を基に、中萩校区学校運営協議会による学校評価を行いました。結果を報告いたしますとともに、皆様からいただいたご意見を次年度の取組に生かし、更により良い教育活動、教育実践となるよう改善を図っていきたいと考えております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

1 児童アンケートの結果と分析・改善策

中萩小学校 自己評価（児童アンケート）

令和6年1月

評価方法 ア:大体できている イ:できている ウ:あまりできていない エ:できていない それぞれの回答数を百分率で示した。アとイの百分率の合計を肯定的評価としている。 (単位%)								
No.	項目	ア	イ	ウ	エ	合計	R5 ア+イ	R4 ア+イ
1	学校に行くのが楽しい	53	29	12	6	100	82	82
2	学校の勉強が楽しくよく分かる	41	39	15	5	100	81	82
3	タブレット(iPad)を利用した授業は、楽しくよく分かる	65	26	6	3	100	91	89
4	友達を大切にし、仲良くしている	75	19	4	2	100	94	95
5	お家や地域であいさつや返事ができている	64	25	8	3	100	89	88
6	読書をしている	49	22	21	8	100	71	72
7	そうじやお手伝いをしている	46	34	15	5	100	80	78
8	けがをしないように安全に気を付けている	67	22	6	5	100	89	86
9	周りの人は、がんばったことをほめてくれる	53	29	12	6	100	82	80
10	周りの人は、話を聞いてくれる	60	28	8	4	100	88	87
11	家庭学習の習かんが身に付いている	45	33	17	5	100	78	79
12	早ね、早起きができている	44	29	15	12	100	73	72
13	家族と学校のことをよく話す	56	25	13	6	100	81	78
14	地域の行事に参加することは楽しい	50	27	14	9	100	77	72

<児童アンケートについて>

- ・ タブレットを使用した授業が定着してきて、操作することに慣れ楽しい授業につながってきている。
- ・ 学校行事や地域の行事等工夫しながら実施できたものが増え、楽しさを感じる機会が戻ってきている。
- ・ 「友達を大切にし、仲良くしている」「お家や地域であいさつや返事ができている」「周りの人は、話を聞いてくれる」の評価は例年どおり高い。周囲との関わりを大切にしながら、思いやりの気持ちを持って学校生活を送ることができている。
- ・ 「学校に行くのが楽しい」と全児童が感じるように、更に一人一人を大切にしたい関わりができるように努めたい。
- ・ 「読書をしている」の評価が伸び悩んでいる。より本に親しむために読書の時間の確保や取組方の工夫などを行い、根気強く指導を続けていきたい。

2 保護者アンケートの結果と分析・改善策

評価方法 ア:大体できている イ:できている ウ:あまりできていない エ:できていない それぞれの回答数を百分率で示した。アとイの百分率の合計を肯定的評価としている。 (単位%)								
No.	項目	ア	イ	ウ	エ	合計	R5 ア+	R4 ア+
1	楽しく学校に通うことができますか	57	39	4	0	100	96	96
2	学校で学習したことを身に付けることができますか	28	60	11	1	100	88	89
3	学校は、楽しくよく分かる授業ができていますか	34	60	6	0	100	94	94
4	学校は、ICT(電子黒板やタブレット)を活用した授業ができていますか。	48	50	2	0	100	98	97
5	友達を大切にし、仲良く生活できていますか	56	41	3	0	100	97	98
6	家庭や地域で、挨拶や返事ができていますか	35	52	12	1	100	87	87
7	読書をよくしていますか	20	27	39	14	100	47	51
8	掃除や手伝いをしていますか	17	39	39	5	100	56	60
9	学校は、環境整備に努め、安全・安心な学校づくりができていますか	28	67	4	1	100	95	95
10	学校は、お子さんを大切にし、その良さを認める関わり方ができていますか	37	59	3	1	100	96	96
11	学校は、家庭からの相談に適切に応じることができていますか	46	51	2	1	100	97	95
12	家庭学習の習慣を身に付けることができますか	26	53	18	3	100	79	81
13	早寝・早起き・朝ご飯などの生活習慣を身に付けることができますか	38	47	14	1	100	85	83
14	学校と家庭と地域が一体となって、子どもたちの教育を行うことができますか	20	69	10	1	100	89	85

<保護者アンケートについて>

- ・ 昨年度とほぼ同じ傾向であり、肯定的な評価が85%以上の項目が多い。
- ・ ICT活用に関する評価が高くなっている。日常的に電子黒板が利用されるようになっており、授業をはじめ持ち帰り等様々な場面でのタブレット活用も進んでいる。今後、より効果的な活用や情報モラル等についても継続して取り組んでいきたい。
- ・ 「読書をよくしていますか。」の項目は、今年度も評価が低い。より本に親しむために読書の時間の確保や取組方の工夫などを行っていききたい。また、『家読』の啓発や学年便り等での啓発に努めていきたい。
- ・ 学校における学習や生活を通して基本的な生活習慣を定着させ、「掃除や手伝い」「家庭学習の習慣」「早寝・早起き・朝ご飯」などについて啓発に努めたい。
- ・ 通学路の危険な場所については、引き続き教育委員会や警察署等関係機関、学校運営協議会等と連携しながら、改善に努めていきたい。校内の修繕の必要な箇所については、教育委員会と連携しながら対応し、児童の安全確保に努めていきたい。
- ・ 週末や長期休暇の宿題の量や内容、タブレットの持ち帰りの進め方等については、児童の発達段階を踏まえ、検討していききたい。
- ・ 今後も、家庭と地域が一体となり、連携を図りながら、安心して充実した学校生活を送れるように努める。
- ・ 避難訓練は毎学期行っているが、災害時の引き渡しや登下校時を想定した対応など、保護者との共通理解を図っていききたい。

3 中萩校区学校運営協議会における委員の意見

<児童の様子について>

- ・ 思いやりの気持ちを持つ児童が多くいるのがうれしい。
- ・ 読書に関しては、スマホの影響が大きな原因のようにも思われるので、対策が必要では。
- ・ 早寝、早起きができてなければ、体調面に影響大になると思われる。
- ・ 元気に挨拶してくれる児童が多く、元気をもらえる。
- ・ 児童を取り巻く環境や条件は十人十色で、抱える問題は様々だと思いますが、どの子にとっても1日の大半を過ごす学校に居場所があり、楽しいところであるように願う。
- ・ 登校時の班長さんの気配りがよくできている。
- ・ 14項目中9が上がっているので、学校が楽しく充実しているのだと思う。
- ・ タブレットを使用した授業が定着している。楽しく勉強できることはとても良いことだと思う。全ての子どもが学校が楽しい場所になってくれることを願う。
- ・ 通学時の交通指導、また、下校時の見守り活動を実施しているが、子どもから挨拶をしてもらえることが少ないように思う。こちらから積極的に声を掛けるようにはしているが・・・
- ・ はぎっ子テンに参加している児童の様子を見てみると、相手の立場を尊重し、互いを思いやる心が育っていると感じる。5の挨拶の項目も自己評価どおりよくでき

ていると思うが、挨拶の声が小さい子どもが結構いるのが残念である。14の「地域行事に参加することは楽しい」の評価が少し向上しているが、この項目をもっと上げるように努力していきたいと思う。1の「学校に行くのが楽しい」の項目が100%に近づくといいですね。

- ・ アンケート結果から、読書、家庭学習、早寝早起き、地域交流がやや低い評価となっているが、中、高でも同様の結果があると思われる。もちろん学校の働き掛けが必要であるが、これら項目は家庭での働きがないと向上は期待できない。学校と家庭の一層の連携が期待される。
- ・ 学校は学ぶ場所。インプットとアウトプットができる場所。小さな社会ルール、学力を付けることで将来の選択肢が増える。いろんな人がいて当たり前。だから個人尊重ができる。失敗を重ねて生きる力を一番最初に学ぶ場所。児童自ら、考え、悩み、行動することを楽しんでほしい。
- ・ 全体的に昨年度と同等の評価といえ、安定している感がある。「分析のコメントにもあるように、「学校に行くのが楽しい」と感じていない児童が18%、学校に来にくい児童も少なくないとうかがっている。教職員のみならず、行政、地域も児童との関わりを深めなければならないと感じた。
- ・ 学校に行くのが楽しくないと感じている子どもの多さに時代を感じる。

<教職員の取組について>

- ・ 項目によっては100%と自信を持っていいのではと思う。
- ・ 挨拶や返事など、授業以外の生活指導を行っていただき感謝する。
- ・ 家庭学習は指導をしてくださっても、帰ってのことなので大変だと思われるが、声掛けの継続で、もう少し改善できたらと思う。
- ・ 教職員の方も多く校区の行事等に参加をして情報を収集することもよいのでは。
- ・ コロナ禍以降、タブレット端末の使用が定着し、子どもたちにとって学習方法の選択肢が増えたことは、将来に向けて大変良かったと思う。一方、先生方にとっては、その使用や管理面で負担が増えたのではないかと思う。先生方の忙しさはよく耳にするとところである。子どもたちと直に触れ合う時間が少しでも増えるように願いたい。
- ・ 先生方が子どもたちのために、努力しているのがよく伝わってくる。一人も取りこぼすことなく、子どもたちを見守り、個性を伸ばしてほしい。
- ・ 肯定的な評価が90%以上が大半であることに安心した。これが全て100%評価となるように頑張っていたきたい。
- ・ 昨年より、全体的にできているという感じで、頑張っているなという印象である。
- ・ CSの取組として、人と関わり合う力を育成する指導をしてもらいありがたいと思う。
- ・ 今年度も昨年以上に先生方の自己評価が高く、向上していることは喜ばしい限りである。先生方が子どもたちの姿に喜びを感じて、自信を持って指導して下さっているたまものだと思う。特に、コミュニケーション育成、挨拶や返事の指導、清

掃指導の項目が向上している点が、ありがたく思う。ただ、授業を見ていないので外的外れかもしれないが、授業は子どもたちが意見を出し合い、練り合い、互いを高め合う場であると思う。その点がICTの活用でどうなのかが少し気掛かりである。

- ・ ほとんどの項目で肯定的な評価が90%を超えており、素晴らしい結果だと感じる。コロナ禍において地域との連携がやや停滞していたため、CS活動の評価はやや低いようだが、徐々に改善傾向にあると思われるので不安はない。
- ・ 児童が明るく楽しい学校生活を送るため、いろいろ考えてくださっている様子はすごく分かる。
- ・ 授業改善や学校行事、地域との連携に対し、積極的に取り組んでいることがよく分かる。昨年度との結果比較でも全体的に肯定的評価が改善されているが、児童アンケート結果とギャップがある項目があるので、課題として認識されている項目については、引き続き積極的にご対応いただきたい。
- ・ コロナが明けてコロナ前との取組方が大変な中、よく子どもたちのことを考えてしていると思う。

<学校への提言>

- ・ コロナも5類に移行されたが、まだまだ完全に落ち着いたわけではないので、教職員の方々も思うようには進まないと思うが、意見に対して1件1件解決して欲しい。また、学校サイドだけでは対応できないときは、他方面の方の意見等も取り入れて進めるのも良いのではと思う。児童の目線に立って、学習、生活面のご指導よろしく願います。
- ・ 住んでいる地域に関心を持ち、愛着を持つ子どもたちが増えることを願う。地域の大人として協力したい。
- ・ 自転車のヘルメットは必ずかぶるように指導をお願いする。転倒時、頭部のけがが多くある。
- ・ 学校は子どもたちが人と関わり合う力を伸ばす場所として楽しく勉強したり、運動したりしてほしいと思う。親も子どもも安心して通える所であってほしい。
- ・ 今まで以上に地域の方々との交流ができるような授業やシステムを考えていただきたい。
- ・ 学校、家庭、地域が一体となって安心して充実した学校生活を送れるように努めていきたい。
- ・ 「挨拶・清掃・時間を守る」この三つが生活の基本だと思う。特に挨拶はコミュニケーションの入口。明るい挨拶であふれる地域にしたい。「元気に、笑顔での挨拶の指導」今後ともよろしく願いたい。
- ・ 保護者からの主な意見には、本来家庭で指導すべきものも含まれているように感じる。学校が改善すべき提案、意見はしっかり取り上げる必要はあるが、そうでないものは、PTA役員なども巻き込んで、学校としての対応を準備しておくのでもいいと思う。大半の保護者は理解してくれると信じている。
- ・ 各項目の評価結果について、しっかりと分析し、課題や取組方法を把握されていると思われる。社会的な様々な制限がある中、活動を見直し、改善し、実現させること

は大変なことだと思いがよろしくお願ひしたい。

- ・ 保護者の方も一生懸命されていると思う。学校評価が高い項目が多いので安心した。保護者と学校が密に連絡を取り合い、いい小学校生活を送ってほしい。